

会 議 録 (1)

| | |
|--------------|---|
| 会議の名称 | 平成29年度第1回飯能市社会教育委員会議 |
| 開催日時 | 平成29年7月25日(火) 開会 午後1時30分 閉会 午後3時40分 |
| 開催場所 | 飯能市総合福祉センター 2階 視聴覚室 |
| 議長氏名 | 社会教育委員代表 内沼利泰 |
| 出席委員 | 伊藤 誠 内沼利泰 山田博一 中嶋文代 金澤千恵子 久下文男 藤本重成 西村敦子 野村正弘 本橋萬智子 |
| 欠席委員 | 斉藤国明 町田邦弘 大野 康 木藤達哉 山川安代 |
| 説明者の 職氏名 | 生涯学習担当主査 馬場弘次 |
| 傍聴者の数 | なし |
| 会議次第 | 1. 開会 2. 委嘱式 3. あいさつ 4. 自己紹介 5. 社会教育委員の職務について 6. 社会教育委員代表・副代表の選出 7. 協議事項 (1) 社会教育委員の職務について (2) 情報交換 (3) その他 8. 閉会 |
| 配布資料 | 1. 会議次第 2. 社会教育法(抜粋)と飯能市社会教育委員設置条例 3. 飯能市社会教育委員名簿 |
| 事務局職員 職氏名 | 教 育 長 今井直己 生涯学習課長 大野美智子 生涯学習担当主査 馬場弘次 |

議事の概要 (経過)・決定事項

1. 委嘱状交付 教育長

2. 協議事項等

・代表・副代表の選出

委員代表は内沼委員、副代表は本橋委員に決定した。

協議事項

(1) 社会教育委員の職務について

資料に基づいて説明

(2) その他

| 発 言 者 | 発 言 内 容 |
|-------|---|
| | 開始：午後1時30分 |
| 事務局 | ただ今から、平成29年度第1回社会教育委員会議を開会いたします。 はじめに、委嘱状交付を行います。 |
| 教育長 | (委嘱状交付、あいさつ) |
| 事務局 | 次に社会教育委員の職務について説明いたします。 (事務局説明) 次に委員代表及び副代表の選出をお願いいたします。 |
| 委 員 | 引き続き内沼委員が代表ではいかがでしょうか。 (異議なしで決定、副代表は代表の推薦により引き続き本橋委員) |
| 事務局 | 協議に移ります。代表が議長でお願いします。 |
| 委 員 | 教育全体から学校教育を除いたものが社会教育になる。 社会教育委員には社会教育法により教育委員会に助言するなど権限が与えているが責任もある。 昨年は郷土館・図書館・公民館を視察する機会があり、社会教育施設を知ることから始め、社会教育について考えることが必要である。 |
| 議 長 | 郷土館・図書館・博物館(駿河台大学)・公民館の視察を含め各施設で役割を研修し新鮮な意見を聞くことができた。 他市町によって社会教育委員の役割は違うのか。 |
| 委 員 | 入間地区13市町の中では、会議の開催回数も年に3回程度の市もあるが毎月自主勉強を含めて10回以上実施している市町もある。 費用弁償についても、会議毎支払いするところや年額支払いというところもある。 |

| | |
|-----|---|
| | <p>任期期間中に提言を行うところ、諮問・答申を行うところなど活発に行っている市町もある。</p> <p>日高市では、小中一貫校について検討しており、教育長から社会教育委員に対して、コミュニティスクールについて研究するよう依頼を受け、仕事で昼間集まらない委員のために夜間会議を開催している。富士見市では事業仕分けで社会教育委員が廃止になりかけたが、公募で委員を募集した結果、委員が活発に発言するようになった。</p> <p>定期的に各市町の理事が情報交換を行うことはあるので、他市町との交流を図るために合同で会議を開催するのはどうか。</p> |
| 議 長 | <p>川越市の委員の中には市議会議員も入っているので、影響力がある。</p> <p>各市町によって委員の温度差がある。</p> |
| 委 員 | <p>小学校では、教育の一環として地域に出て教育を行っている。学校が地域のいろいろなところとかかわりを持ち子育てを行っている。そうでないと子育ては難しい。学校の枠の中だけでは難しい。社会教育と学校教育がさらに絡んで子育てをしていく必要がある。</p> |
| 委 員 | <p>初めて委員となり会議に参加したので、理解不足の状態では話をするが、加治小学校のPTAとしては、加治小から外に出ていないので、視野が狭い状況であるが、いきなり何か外へ出て地域とつながりを持つのは難しいので、目の前の子供たちが行っていることを発信していきたい。</p> <p>経緯とかもわからないので、これからどの方向に向かっていくのかを示してほしい。</p> |
| 議 長 | <p>経緯は、飯能市を活性化するテーマから「コミュニティカフェ」「ジュニア飯能検定」について研究し教育委員会へプレゼンテーションを行った。</p> <p>「ジュニア飯能検定」は子どもたちに郷土愛等を育んでもらうための事業として提案した。</p> |
| 委 員 | <p>ジュニア検定は自分自身も知らなかったことが多くあり、飯能市を再発見</p> |

| | |
|----|---|
| | <p>することができたと思うし、子どもたちと親御さんとの家族のつながりができたと思う。</p> |
| 委員 | <p>コミュニティカフェは、すべての人の居場所づくりをテーマに考えたもの、高齢者や子育て世代の方は、いくつかサロンのようなものが存在するが、だれでも気兼ねなく利用できる居場所となるところについて発信したかった。</p> |
| 委員 | <p>昨年初めて委員になり何をしてよいかわからなかったが、自分の住んでいる市を知ることで、地域ごとの課題が見えてきた。全体的な課題を解決することは難しいが、小さい課題から解決することの意義を知ることができた。</p> |
| 委員 | <p>現在、双柳小学校児童の見守りを行っているが、昔あそびを教えたりしながら子どもたちとのコミュニケーションを通じて地域のつながりを持つことが生涯学習の一つと考え実施している。</p> |
| 議長 | <p>今の子供と10・20年前の子供の違いはあるか？</p> |
| 委員 | <p>家にこもったりしなかったと思う。時代によって遊び方や遊びが変わっているが、遊びたいと思う気持ちは変わらない。今は昔と違い男女仲が良いと思う。</p> |
| 議長 | <p>世代間交流についてはどう考えるか。</p> |
| 委員 | <p>図書館で読み聞かせを行っているが、来る方は付き合いが広がらない。若い子育て世代のお母さんたちの相談の場があれば良いと思う。また、お年寄りや若い方の世代間交流ができれば良いのではないかと思う。</p> |
| 委員 | <p>世代間交流を行う場所の提案として、コミュニティカフェを研究して提言をさせていただいたが、実現されなかった。</p> |
| 委員 | <p>子育て世代のお母さんの相談場所として、「どんぐりルーム」(子育て世代</p> |

| | |
|-----------|---|
| | <p>のお母さんの集いの場)「イルカ広場」(原市場小学校の空き教室を利用)など子どもがいる方だけ限定になっている。</p> |
| <p>委員</p> | <p>日本の生涯学習は成熟していると思う。学びの社会が整っている。大学に入りなおす人もいて、体制が整っている。多くの親は高等教育を受けさせようと思っている。教育の現状を把握したうえで今後の方向性を考えたらどうか。</p> |
| <p>委員</p> | <p>当校においても、社会人になってから大学に入りなおすリカレント教育を受ける学生がいる。例えば、博物館の資格だけを取りたい方や、子育てが一段落して1年生から大学生になる方など、学べるときに学べる時代になった。</p> |
| <p>議長</p> | <p>中学生の親御さんは、自分の子どもが将来について明確に決まっていないから、ただ高校に行かせたいと思っている。</p> <p>女子の場合の方が、大学に行って資格を取りたい等の目的がはっきりしていて、男子の方が精神的に幼い印象を受ける。</p> |
| <p>委員</p> | <p>小学校では女子の方が弁が立つので、大人びた印象はある。今は昔と違い男女の垣根がフラットになった印象を受ける。女子も応援団になるのが普通の光景である。女子の方がリーダーシップを発揮している。</p> |
| <p>委員</p> | <p>確かに学ぶ機会が増えていると思う。例えば、彩・喜樂学などは学びたいものを自分で選択し1講座から学べるので、勉強したいと思ったら行くようにしている。</p> |
| <p>委員</p> | <p>生涯学習と社会教育の違いについて、非常にあいまいなものであるが、以前読んだ本に、生涯学習は自分自身の内側からの要求で学ぶことであり、社会教育は世の中のニーズを学ぶこととあった。</p> <p>社会教育とは地域のニーズにこたえた仕事と考える。</p> |

| | |
|-----------|---|
| <p>委員</p> | <p>資料1に提言するとあるが、どこまですれば良いのか。</p> <p>例えば、加治小学校でお獅子を行っているが、保存会の方に来てもらっているので、参加者も多いが、例えば、学校以外の場所で開催した場合には参加者も少ない。参加者が出向くより、主催者が出向いた方がより多くの参加が得られるので、こういった転換などの提言をしたらどうか。</p> <p>また、任意団体がいくつもあるが個別の活動になっているので、横のつながりをもって事業転換などの提言をしたらどうか。</p> |
| <p>委員</p> | <p>大学生の情報のほとんどはスマホから得ている。スマホで取れない情報では役に立たない。情報発信の仕方によって社会教育関係のデータベースを作り公開することで、講師派遣を行うなどインターネットを介した情報発信をある程度形作って助言や意見を行ったらどうか。</p> <p>郷土館が改修工事をしているが、データが古かったり、色あせているものを展示していたので教育長に写真で示し提言した。</p> |
| <p>議長</p> | <p>生涯学習推進委員をしていたころ、情報発信と出前講座について協議を重ねた。情報発信の仕方等重要と考える。</p> <p>次回以降の進め方は代表・副代表で考える。</p> <p>次回の日程は事務局と協議して通知する。</p> |
| <p>委員</p> | <p>以上で会議を終了します。</p> <p>閉会：午後3時40分</p> |

議事の顛末・概要を記載し、その相違ないことを証するためここに署名します

平成29年 月 日

議長の署名 _____

